

平成27年7月10日

自衛隊記念日レセプションに於ける大使スピーチ

ベトナム人民軍副総参謀長 ヴォー・ヴァン・トゥアン中将をはじめ、ご列席の皆様。本日は第61回目となる日本国自衛隊記念日レセプションにご参加下さり、誠にありがとうございます。

さて今年2015年は、越にとり建国70周年であると同時に、南北統一40周年の記念すべき年であります。誠におめでとうございます。

一方、本年は我が日本にとりましては、第2次世界大戦終結から70年の節目の年に当たります。

この70年間、日本は一貫して平和国家としての道を歩んで参りました。アジアをはじめ世界中の途上国の経済発展やPKO活動等を通じた国際社会の平和実現に積極的に貢献して参りました。

そして今後、我が国は世界の平和と安定のため、これまで以上に積極的な責任を果たしていく所存です。

「国際協調主義に基づく積極的平和主義」。これが現在、我が国が掲げている外交・安全保障政策の柱であり、日本政府はこの政策実行に必要な新たな安全保障法制の整備に、着実に取り組んでいるところです。

我が国はこうした外交政策の下、海洋安全保障分野でのベトナムとの協力を重視しております。

これまでも我が国は、ベトナム海上警察等に対する船舶の供与や、ベトナム人民軍に対する各種能力構築支援などを、継続的に実施して参りました。これからもこうした協力や、自衛隊の艦艇や航空機によるベトナム訪問を通じた親善訓練などを積極的に行っていく所存です。

ところで本日この会場には、我が国の防衛大学校を卒業した多くのベトナム人民軍将校の皆さんにご参加を頂いています。

本日の自衛隊記念日レセプションが、日越両国の戦略的な絆を再確認させ、更なる協力深化の契機となることを願っています。

日越両国の一層の関係強化と、アジア太平洋地域の平和と繁栄を祈念して、皆様とともに乾杯したいと思います。乾杯。

(了)